

4月27日のブラジル株式市場の急落について

大和証券投資信託委託株式会社

4月27日(現地)のブラジル株式市場は、ボベスパ指数で前日比 3.43%下落しました。格付け会社スタンダード・アンド・プアーズ(S&P)が、ギリシャの長期債務格付けを『BBB+』から『BB+』(投機的水準)へ3段階格下げしたことから投資家のリスク許容度が低下、世界的にリスクを回避する動きが強まり、欧米株式市場と同様に大きく値を下げる展開となりました。また、27日はポルトガルの長期債務格付けもS&Pによって『A+』から『A-』へ格下げされたことから、ギリシャ問題が欧州全体へ波及するリスクがあらためて意識されたほか、鉄鉱石の輸出などブラジルとの関係が深い中国では、足元で不動産価格の上昇を抑制する動きが広がっており、これらの懸念材料が重なったことも相場を押し下げる要因になったと考えられます。

セクター別では、国際商品市場の調整を背景に素材セクターやエネルギーセクターが大きく下落したほか、一般消費財・サービスセクターや資本財・サービスセクターなどの景気敏感セクターの下落も目立ちました。また、為替市場でも、ギリシャの格下げをきっかけにリスクを回避する動きが広がりレアルが売られ、リスク回避通貨とみなされている円が主要通貨に対して選好された結果、レアルは円に対して前日比2%以上下落する展開となりました。

ブラジルでは、4月28日(現地)引け後に金融政策委員会(COPOM)が政策金利の発表を行います。マーケットでは0.50%から0.75%の利上げが見込まれており、2010年末までには現在の8.75%から11.75%程度までの利上げが予想されています。一般的に、政策金利の引き上げは株式市場に対してネガティブと考えられますが、すでに株式市場は利上げをある程度織り込んでいると予想されるほか、過去の相場環境では必ずしも利上げによって株価が調整する関係は見られないため、むしろ政策金利以外のファンダメンタルズ(経済の基礎的諸条件)の動向が相場を左右していると考えられます。短期的には、中国の金融引き締め懸念や欧州の財政赤字問題などの動向に左右される展開が続く可能性があります。ブラジル株式市場の投資魅力は依然として高く、中長期的な成長見通しにも変化はありません。ブラジルでは、経済の安定、成長に伴い中間所得層の増加が想定されるほか、過去と比べて相対的に低い金利によって銀行融資の増加が期待されるため、民間消費の拡大が見込まれます。また、2014年にはサッカー・ワールドカップ、2016年にはオリンピックが開催されるため、社会基盤整備への投資も加速することが想定されます。したがって、中長期的にはブラジル株式市場はこうしたブラジルの潜在成長性を反映した相場展開になることが期待されます。レアルについても、他国と比較して高い金利や、豊富な投資機会を背景に海外からの投資マネーの流入が期待されるため、中長期的には堅調に推移するものと考えられます。

以上

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.20750%（但し、最低 2,625 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 非上場債券（国債、地方債、政府保証債、社債）を当社が相手方となりお買付けいただく場合は、購入対価のみお支払いただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会 : 日本証券業協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会、社団法人 金融先物取引業協会